



一般社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

YACHIYO REHABILITATION HOSPITAL



【診療科目】リハビリテーション科 【病 床】240床 【施設概要】敷地面積 16,238.39㎡ 延床面積 10,229.2㎡ 【面会時間】午後 2:00～午後 8:00 【駐車場】有

基本理念

「手には技術 頭には知識 患者様には愛を」

当院では、リハビリテーションの役割として、「障害を受けた人をその人のなしうる最大の

1. 身体的 2. 精神的 3. 社会的 4. 職業的 5. 経済的

な能力を有するまでに回復させることである」を目標に掲げ、

各専門職と連携をとり、患者様の早期在宅復帰をサポートしていきます。

基本方針

1. 安心・安全な医療

学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. 回復期リハビリテーション医療

患者様・ご家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅まで一貫した、患者様のニーズに沿った安心できるチーム医療を提案します。

3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、「寝たきりゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる、回復期リハビリテーション病院を目指します。

1. 回復期リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションに特化した病院です。急性期から退院された患者様に、出来るだけ早期から、高密度のリハビリテーションを提供し、患者様の自立を助け、「寝たきりゼロ」を目標に、自宅、職場に復帰するお手伝いを致します。

2. 365日のリハビリ提供体制

発症からできるだけ早く、そして集中的なりハビリを行うことが効果的と言われています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリサービスを土・日・祝日を含め、365日提供します。

3. 地域医療

地域の急性期の病院、診療所、介護福祉施設と密接な連携を持ち、地域完結型医療を担う一員として、患者様が切れ目のない医療・介護サービスを安心して受けられるお手伝いを致します。もし入院中に手術などが必要になるような事があれば、ただちに適切な処置が受けられるように、地域の数カ所の急性期病院と連携をしています。

ご挨拶



院長
妻鳥 元太郎
【専門／外科】

【院長経歴】

1983年防衛医科大学卒業
海上自衛隊江田島地区病院
国立療養所広島病院外科研修
海上幕僚監部衛生企画室
海上自衛隊第1掃海隊群司令部医務長
防衛医科大学医学研究科 外科
海上自衛隊呉衛生隊長

自衛隊佐世保病院診療部長
海上自衛隊自衛艦隊司令部衛生幕僚（医務長）
自衛隊大湊病院長
自衛隊佐世保病院長
防衛医科大学 防衛医学講座教授
2017年巨樹の会蒲田リハビリテーション病院
2018年巨樹の会赤羽リハビリテーション病院副院長
2019年巨樹の会八千代リハビリテーション病院院長

八千代リハビリテーション病院は、回復期リハビリテーションの専門病院として2006年八千代台の地に60床で開設され、2007年に現在地の米本へ83床で新築移転しました。回復期に特化したユニークな病院として高い在宅復帰率を維持してきたことが評価されたのでしょうか、2017年4月に120床、同年12月に130床、2018年に180床、そして2020年には240床へと徐々に規模を大きくすることができました。これもひとえに、地域の皆様のご理解、ご支援と関係機関のご協力の賜物であります。また回復期という急性期と生活期を橋渡しする施設の役割が社会のなかで増してきたと考えています。

なにぶん当院はリハビリ科単科であり、急性期病院併設のリハビリ施設と比べれば、診断や治療といった医療能力に限界があります。しかし回復期リハビリ単科として目的がはっきりしているところから、リハビリスタッフや看護スタッフの熱意はすばらしいものがあります。新設の南棟を含む4つの病棟がそれぞれ工夫を凝らして切磋琢磨し、より患者様に寄り添える病院づくりを目指しております。開設当初の4倍の規模となりましたが、従前にもましてきめ細かく充実したリハビリテーションをご提供できるように万全を図り、誠実かつ着実に地域医療への貢献を続けていきたいと考えております。



チーム医療

プロフェSSIONALによる チーム医療

最新の設備を使用し、医師や看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など、多数の専門職種がチームを組み、治療プログラムに沿って起床時から就寝時まで365日リハビリテーションを提供します。



◎「回復期」とは？

集中的なリハビリテーションによって、機能回復が最も期待できる時期です。

◎回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対象疾患	入院期間
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
②	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
③	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

リハビリテーション部

◎理学療法(PT)

理学療法では、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの基本的な動作の回復を目的としたリハビリを行います。

また、電気などを用いた治療やマシンを使った筋力トレーニングで社会復帰に必要な体力面の強化を行います。



◎作業療法(OT)

作業療法では着替えやお風呂などご自宅を想定した日常生活の訓練を中心に行っています。家事動作や職場復帰のために必要な訓練・家屋調査を行い、再び元の生活が送れるように支援しております。手芸や書道などの趣味的な活動も行っています。また、最新技術を駆使した手指ロボット、タイロモーションシステムを取り入れたリハビリテーションを提供しております。



◎言語聴覚療法(ST)

コミュニケーション障害をもった患者様に、機器等を使って、あるいはジェスチャーや描画などによって言葉や意思を引き出す訓練を行っています。

また嚥下障害のある方には食事を安全に、よりおいしく楽しく食べられるように摂食嚥下の訓練を行っています。





身体機能訓練：体の状態に合わせたリハビリテーションを提供します



歩行訓練：屋内や屋外での歩行訓練を行います



日常生活動作（ADL）訓練：食事、整容、更衣、排泄、入浴など身の回り動作の自立を目指します



家事動作訓練：調理、洗濯、外出、買い物、公共交通機関の利用など生活スタイルに応じて実施しています



摂食嚥下訓練：必要に応じて検査を医師や歯科医師と行い、安全に食事ができるように支援します



復職訓練：様々な業務内容を模擬的に訓練し、復職に対する訓練を実施しています

リハビリテーション設備紹介



運転支援

リハビリテーション室に福祉車両を設置し乗降訓練をしています。車両にはトランスファーボード、アクセル代わりに手動運転装置、ハンドルに取り付けるアタッチメント設備などを取り揃えています。



球技用ネット

ゴルフや野球のピッチングやサッカーボールを蹴る等、その他球技のリハビリテーションができるスペースです。



ワークサンプル(復職支援・高次脳機能訓練)

復職支援ではワークサンプル幕張版を取り入れリハビリテーションを実施しています。

パソコン操作、伝票作成を含めた事務作業や工場の備品仕分け、作業工程の確認などのリハビリテーションを行っています。



ドライブシミュレーター

運転再開にむけて高次脳機能の評価から模擬的な訓練まで実施します。実際に教習所で実車教習を行う事もあります。

千葉県
初上陸!!

タイロモーションシステム アマデオ(手指ロボット)

アマデオは手・指のリハビリテーションとしてロボット技術を用いたデバイスです。他動、自動で運動できる自然な握りや指の動き、評価、訓練ができます。評価は指の力や筋のこわばりなどが定量的に行えます。



シミュレーションルーム(脊損対応)

脊髄損傷の方が自宅で過ごすためのシミュレーションルームとして利用しています。居室内の移動やトイレ動作、入浴訓練ができるスペースとなっています。

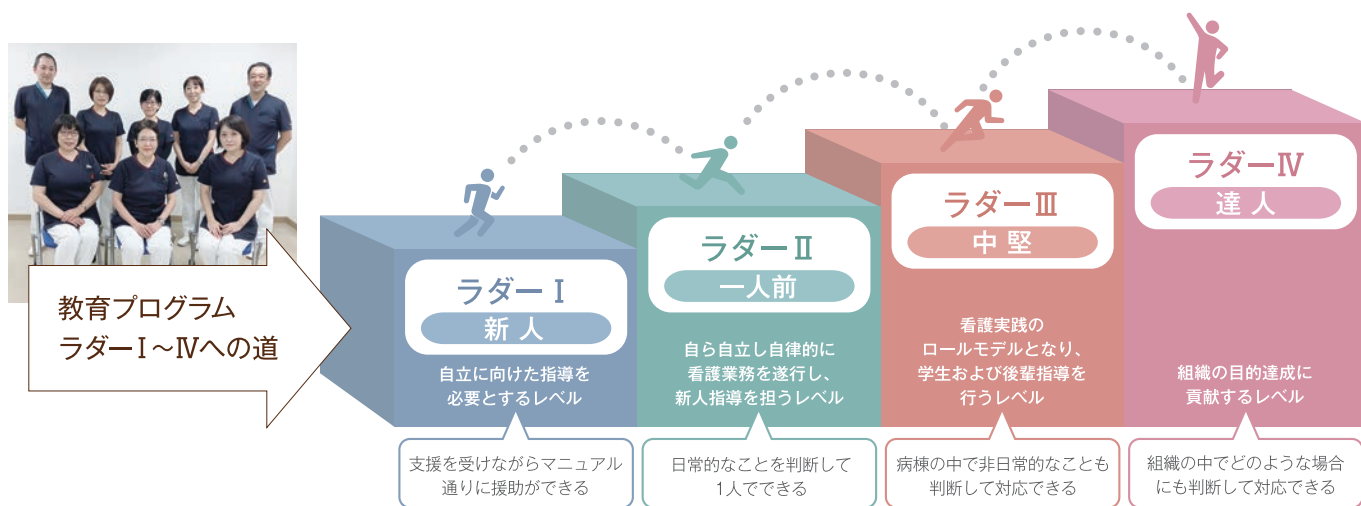
看護部

●看護部紹介

患者様が笑顔で退院できる日に向けて、共に歩むことが私たちの目指す看護です。

看護部理念	「確かな知識と技術、豊かな感性を育む」
看護部方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 患者様に適した根拠ある正確かつ安全な看護を提供します。 ○ 専門職として自律した専門性を追求した看護師を目指します。 ○ 「ホスピタリティ」(思いやり・心のおもてなし)の心をもち看護を提供します。 ○ 職員として地域に根づいた、愛される病院を目指します。
教育理念	人を育て、活かす場づくり

教育体制	教育目的	人材育成を推進し、やりがいのある環境づくりをする
	教育目標	多様な人材を活用し、回復期リハビリテーション看護の専門性を高める
	教育プログラム	◎新人看護職研修 ◎回復期リハビリテーション認定看護師主催の研修 ◎専門研修 ◎ラダー ◎eラーニング
	キャリア開発	質の高い看護を提供するために、人材育成と能力開発を目的に、「看護部キャリア開発プログラム」を導入しています。



日々の勉強会



●回復期リハビリテーション看護の特徴

看護職は、24時間365日患者様のすぐそばにいる存在として様々な情報を得てチーム医療を円滑に進める役割を果たしています。

○多職種合同カンファレンス

- 多職種から編成されるチームで合同カンファレンスを行い、患者様一人ひとりのリハビリテーションプログラムが作成されます。
- 月に一度、患者様・ご家族を含めた面談を行い、退院に向けた意思決定の支援を致します。

○1日21時間のリハビリ支援

- 出来る事を引き出す日常生活援助（食事・排泄・入浴・更衣・整容など）
- 入院生活を楽しく過ごすレクリエーション

○安心・安全な療養環境作り

患者様が安心・安全にリハビリテーションに取り組むことが出来るような療養環境作りを目指しています。

医療安全 チーム	<ul style="list-style-type: none">●多職種による医療安全ラウンド●全職員への医療安全研修●医療安全週間の取り組み
感染対策 チーム	<ul style="list-style-type: none">●多職種、チームによる感染対策への取り組み●全職員を対象とした感染勉強会●感染認定看護師による院内ラウンド



医療安全ラウンド

病院設備紹介 (1F / 南棟 1F)



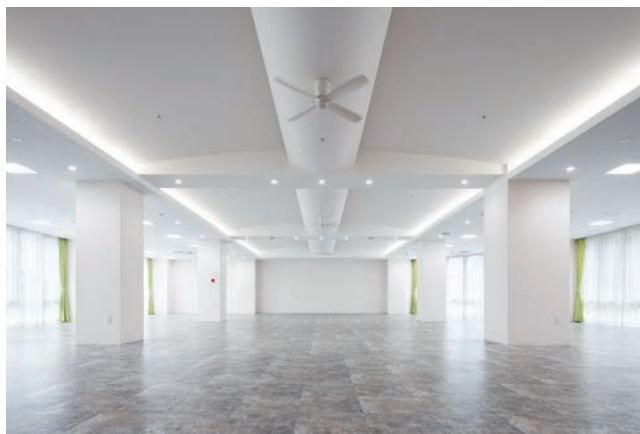
① 1F デイルーム



② 1F 受付(南棟)



③ 1F ウェルカムホール(南棟)



④ 1F 多目的室 1(南棟)



⑤ 1F 多目的室 2(南棟)



⑥ 1F 屋外歩行路



⑦ 1F ウェルカムホール



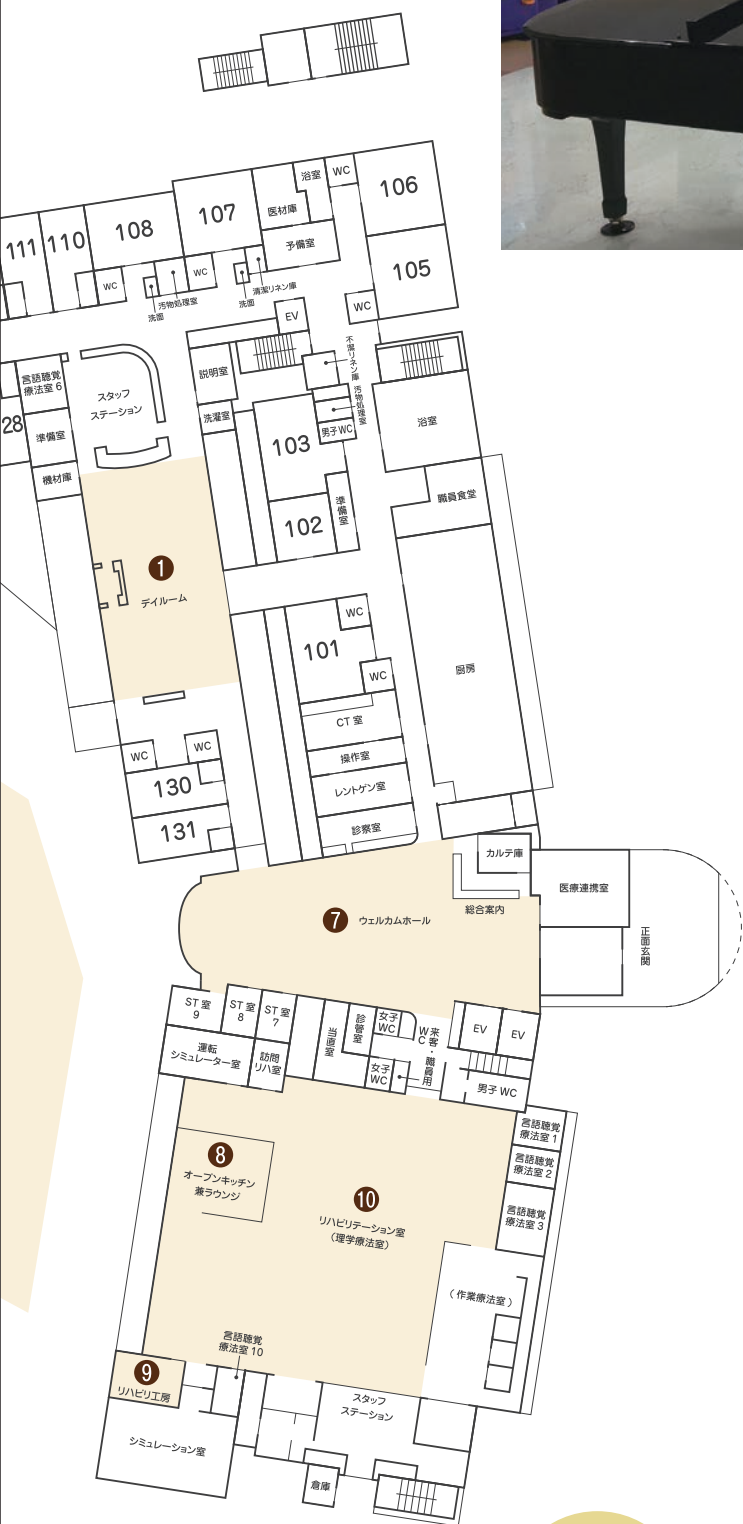
⑧ 1F オープンキッチン兼ラウンジ



⑨ 1F リハビリ工房



⑩ 1F リハビリテーション室



1F

病院設備紹介 (2~3F / 南棟 2~3F)



① 2F デイルーム(南棟)



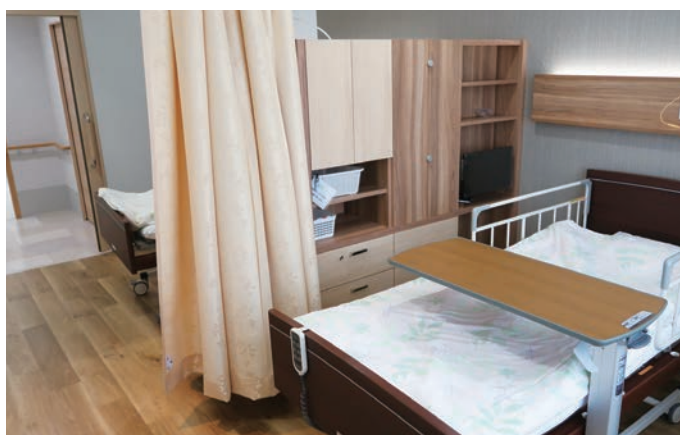
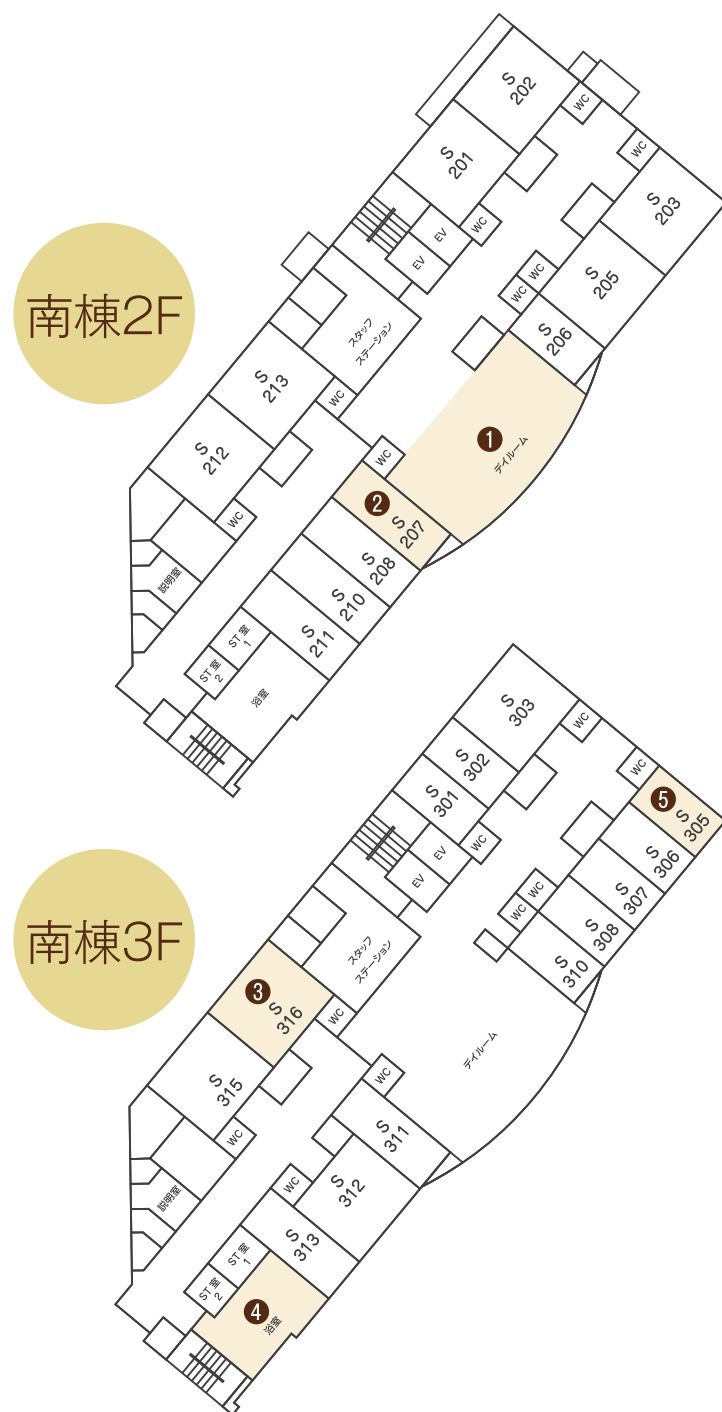
② 2F 個室(南棟)



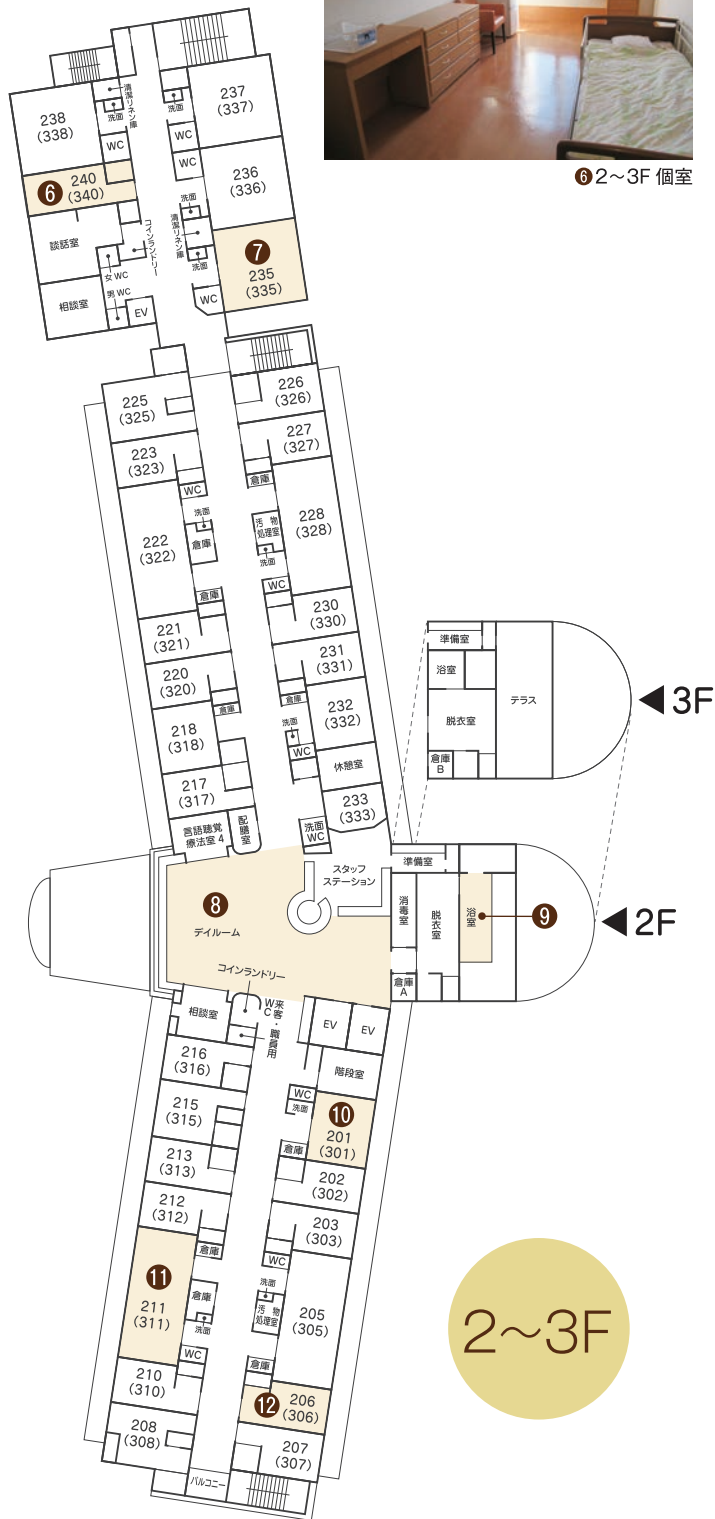
③ 3F 4人部屋(南棟)



④ 3F 浴室(南棟)



⑤ 3F 2人部屋(南棟)



⑥ 2~3F 個室



⑦ 2~3F 4人部屋



⑧ 2~3F デイルーム



⑨ 2F 浴室



⑩ 2~3F 2人部屋



⑪ 2~3F 4人部屋



⑫ 2~3F 個室

1日の流れ

八千代 太郎さんのある1日の流れ(例)

7:00			起床／身じたく	整容・着替え・お手洗い (可能な限り、ご自身で行えるよう支援します)
8:00			朝食	離床可能な患者様は、デイルームにて食事を摂って頂きます
8:30				体温・血圧・脈拍などのチェック
9:10			体操	1日3回(9:10／13:20／16:00)
9:30			作業療法	手や腕の訓練 日常生活動作訓練(着替え・家事動作)
10:30			入浴	週3回実施
11:00			離床活動	読書・テレビ鑑賞 レクリエーション・自主トレーニング
12:00			昼食	食事動作訓練
13:00			言語療法	コミュニケーション訓練 嚥下(えんげ)訓練:食べ物や飲み物を飲み込む訓練
14:00			面談	月に1回実施 (患者様・ご家族・当院職員が出席)
14:30			離床活動	読書・テレビ鑑賞 レクリエーション・自主トレーニング
15:00			理学療法	基本動作訓練(起き上がる・立つ・座る) 歩行訓練/車椅子駆動訓練
18:00			夕食／身じたく	
19:00			レクリエーション	ボードゲームや映画鑑賞会など余暇活動
22:00			消灯	

1日最大3時間の訓練予定

- 基本的に訓練時間は固定ではございません。
- 毎日スケジュールが変わりますので、ご確認下さい。
- 患者様の状態や体調に合わせて訓練計画を立案・実施致します。

医療連携室

入院当日から退院まで安心して診療を受けられるよう患者様の相談窓口として日々努力しております。また、在宅サービス利用方法(医療保険・介護保険・福祉等)の選択など、在宅生活に向けて支援のご希望があればお手伝い致しますので、お気軽にご相談ください。

入院までの流れ

●病院間による電話相談

お電話又はFAXを頂き患者様が回復期リハビリテーションの対象患者様であるか、症状やリハビリテーションの必要性を医学的に検討させていただきます。

●患者様のご家族による入院相談

お電話にて、ご来院可能な相談日を決めさせていただきます。

相談日当日は、担当職員と面談のうえ院内をご見学後、入院を希望される場合は、必要な手続きをとっていただきます。

※上記共に入院日が決定次第、紹介元病院担当者、ご家族の方へご連絡のうえお知らせ致します。

【お電話にて入院相談を伺います】

担当：医療連携室

TEL.047-488-1655 FAX.047-488-1656

【病院間の連絡】

医師または、MSWからの連絡のもと、FAXにて情報提供書をいただき検討致します。

【ご家族からの連絡】

相談日を設定し、院内見学をして頂き、確認のうえ手続きをとっていただきます。

入院日決定のお知らせ

入院



1階 総合案内

見学に
いらっしゃい
ませんか？

当院の詳細をより詳しくお伝えするために、随時見学ができます。

直接目で見ていただきますと、きっとリハビリテーションに対する私たちの思いが伝わり、ご満足いただけると思います。見学を希望される方はぜひ病院までご連絡ください。

医療連携室ご連絡先 ▶

TEL.047-488-1655

● 薬剤科

処方箋にもとづいて、お薬の相互作用や投与量などを確認し、調剤を行っています。また、医薬品に関する情報を収集し、適正に使用していただけるように医療従事者や患者様に情報提供をしています。また、その他部署と共同してチーム医療に貢献しています。



● 栄養科

管理栄養士が一人ひとりの患者様の疾患や身体の状態、栄養状態に応じた食事量の設定、補食の検討を行っています。

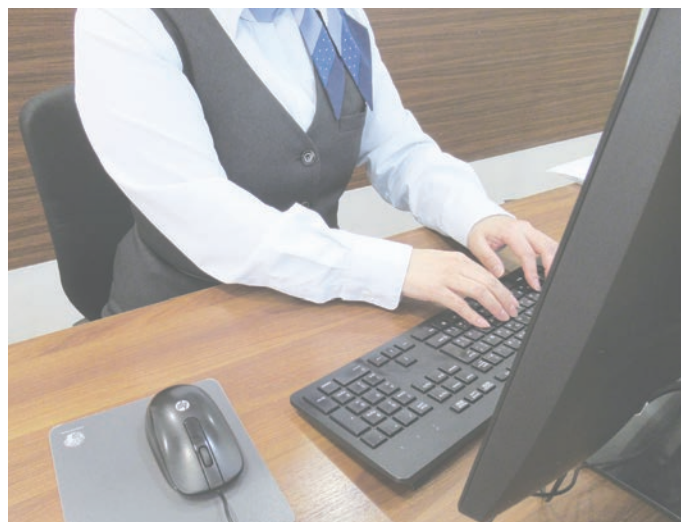
また、入院中でも四季折々の季節を感じてもらえるよう、質の高い行事食の提供にも力を入れています。患者様がリハビリの効果を最大限に発揮できるよう、栄養面と食事面からサポートしています。

個別で栄養指導を行っているため、ご希望される場合は主治医にご相談下さい。



● 事務部

入院時の手続きや電話対応、診断書等の受付、会計業務、相談窓口、診療報酬明細書(レセプト)の作成などを行っています。また、病院の補修や医療材料の管理も含め、幅広く患者様をサポートしています。



訪問リハビリテーションのご案内

当院は、要介護・要支援認定された方及びそのご家族の依頼により行う「指定介護訪問リハビリテーション・指定介護予防リハビリテーション」を提供しています。

- 営業日 月曜日から金曜日 8:30～17:00
- 休日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月30日～1月3日）
- 訪問エリア 八千代市・佐倉市の一部・白井市の一部・四街道市の一部・船橋市の一部・千葉市の一部・習志野市の一部・印西市の一部の区域 ※その他エリアは、ご相談ください。

訪問リハビリテーションの内容

- ◎ 介護方法の検討・指導
- ◎ 外出の練習
- ◎ 趣味活動の獲得
- ◎ 自主トレーニングの指導・アドバイス
- ◎ 歩行・食事・トイレ・入浴などの日常生活動作の獲得
- ◎ 住宅改修（手すり、段差昇降など）や装具作製等のアドバイス
- ◎ 調理・洗濯・掃除などの家事動作の練習
- ◎ その他（様々な生活上の困難に対するアプローチ）

●訪問リハビリテーションを開始する前に

ご本人・ご家族に希望をお聞きし、心身の状態・生活障害・環境などを確認致します。その後、解決すべき問題を絞り込み、目標を決めた上でサービス内容を検討致します。

ご利用には、医師の指示書と介護支援専門員による、サービス提供票(ケアプラン)が必要です。

●お問い合わせ リハビリテーション部 訪問リハビリテーション担当

職員寮

当院では、遠方から当院へ就職される方や、病院から近くに単身生活したい職員のために、職員寮を設けています。

職員寮「プラムガーデン寮」は病院敷地内に隣接しており、通勤時間は徒歩1分！

間取り：2K
設備：エアコン2台、IH調理器付きキッチン、寮玄関はオートロック付き

近隣に病院借上タイプのオートロック付きマンションも有り





ACCESS

〒276-0015 千葉県八千代市米本1808番地

TEL: 047-488-1555 / FAX: 047-488-1552 / E-mail: chiba@yachiyo-reha.com

<http://www.yachiyo-reha.com>

電車・バスをご利用の方

【京成電鉄】 勝田台駅下車後、南口東洋バス、または北口当院無料送迎バスへ

【東葉高速鉄道】 勝田台駅下車後、南口東洋バス、または北口当院無料送迎バスへ

【東洋バス】 米本団地行「八千代リハビリテーション病院」停留所下車

お車をご利用の方

【国道16号線柏方面よりお越しの方】 米本交差点を右折、病院後方入口へ

【国道16号線千葉方面よりお越しの方】 米本交差点を通過、病院正面入口左折へ



当院無料送迎バスについて

2020年7月1日より、勝田台行き無料送迎マイクロバスの運行を開始しました。千葉ニュータウン行きバスは従来通りハイエースとなります。また、勝田台行きと千葉ニュータウン行きバス共に増便・ダイヤ改正を致しました。ご来院の際はどうぞご利用ください。

- 【対 象】 入院患者様のご家族・病院見学ご希望のご家族等
- 【運 行 日】 月～金 ※土・日・祝祭日除く
- 【運行ルート】 路線① 「病院」……………「勝田台駅北口」
 路線② 「病院」……………「千葉ニュータウン中央駅」
 ※時刻表など詳しくは病院ホームページをご確認ください。



▲
八千代リハビリテーション病院
ホームページ



勝田台駅行きバス (マイクロバス)



千葉ニュータウン行きバス (ハイエース)



「勝田台駅北口」 駐車場所

※混雑状況によって停車位置が変わります。



「千葉ニュータウン中央駅」 駐車場所



YACHIYO
REHABILITATION
HOSPITAL

一般社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

<http://www.yachiyo-reha.com>